

第63回 合志市地域公共交通協議会 会議録要旨

〔日時〕 令和4年6月30日（木）13時15分～

〔場所〕 ヴィーブル2階 研修室

〔出席者〕 松永信弘委員、村上香織委員、寺本秀信委員、
島田忠昭委員、野口チカ子委員、二子石智子委員、斉場俊之委員、
坂本昭文委員、野田徹志委員、小森田政憲委員、富田廣志委員、
上松秀樹委員、白石勇人委員、田村正宜委員、高橋慶彦委員、
松本武揚委員、溝上章志委員、田内康敬委員、石原政孝委員、
林省吾委員、作野淳一委員、

〔代理出席〕 熊本河川国道事務所 矢野慎一委員

合志市建設課 原田和彦委員

熊本市交通企画課 飯干修一委員

〔欠席者〕 坂本智子委員、山野一平委員、福田赴文委員、野田大輔委員、

〔事務局〕 松田企画課長、西田審議員、大久保課長補佐、八浪主幹、佐藤主査

〔議題〕

報告事項

（1）令和3年度コミュニティバス運行実績報告について

協議事項

（1）コミュニティバス運行事業評価について

（2）令和4年度事業計画（案）について

（3）合志市生活交通確保維持改善計画（案）について

（4）御代志駅前広場完成に伴うバス停の移設について

（5）子ども無料（大人100円）の日実施に向けた協議運賃の承認について

1 開会

松田課長より開会の宣言

2 委嘱状交付（代表）

荒木市長より委嘱状交付

3 市長あいさつ

【荒木市長】

この公共交通協議会は始まって12年ということになる。

熊本地震、新型コロナ、朝からの交通渋滞、高齢者の免許返納など、社会環境の変化に伴い、地域公共交通というのは、よりなくてはならない事業になっている。

令和2年10月に路線を再編により苦情を受けた。全ての市民が納得するように交通網を配するという事は予算的にも相当無理があるため、限られた予算の中でしっかり効率を上げていき、公平平等の中に合格点が取れるよう委員の方々にいろんな提案をいただきたい。

4 会長及び副会長選出

事務局一任により、合志市技監 松永委員を会長に選出。熊本学園大学 溝上委員を副会長に選出。

【松永会長あいさつ】

一昨年の10月に路線の再編成を行ったが、当時からコロナ禍にあり、利用者がかなり減少したため、今後日常が変化していく状況の中で様子を見ていくという状況にある。

御代志の駅前広場関係が今年の10月初旬を目指して今整備を進めており、それによって公共交通結節拠点が一つ出来上がる。

それを踏まえた形で今後も公共交通のあり方というものを議論していきたい。

5. 報告事項

(1) 令和3年度コミュニティバス運行実績報告について

【事務局】 資料1について説明

【主な意見・質問など】

齊場委員：新型コロナによる増減についてはどうしようもないので、その中でもどうやって利用者を伸ばすかという議論が必要。

乗合タクシーは経費は変わらず、利用者だけが減っているため、早急に見直しが必要。事務局としての方針を確認したい。

事務局：乗合タクシーの方の利用者数の減少については大きな問題だと考えている。デマンド化を含め、乗合タクシーについてはどうにか利用者のニーズを捉えるような運行改善が必要。

溝上副会長：合生・御代志線は4割需要が減っているにもかかわらず、委託料は1割しか減っていない。乗合タクシーの定時定路線は無駄が多いため、デマンド型を導入していく必要がある。

島田委員：北部では、病院や介護施設に行くにしても、アンビー熊本までいかなければならないことが不便。目的地まで直接行けるような方法を考えていただきたい。

溝上副会長：ここ1年くらいで乗合タクシーに乗らなくなった市民の把握は可能ではないか。大変かもしれませんが、地区の委員の方に聞くなど、どんな状況なのか調べることが重要。

野口委員：路線を考える際に、対象者と目的地、利用時間帯についてもっと調べるべきだった。デマンド交通に関する勉強などが必要になってくる。

事務局：デマンド化については、事務局でも検討を進めている。

事業者の人員的負担、システム利用の課題、導入エリアや経費について検討が必要。

村上委員 : がん検診、乳幼児健診、いろんな市の事業と組み合わせて利用者に案内する方法も考えてほしい。

6. 協議事項

(1) コミュニティバス運行事業評価について

(2) 令和4年度事業計画(案)について

(3) 合志市生活交通確保維持改善計画(案)について

事務局より協議事項(1)～(3)について説明。

協議の結果、出席者の承認を経て原案とおり承認された。

【主な意見・質問など】

齊場委員 : 運行事業評価の目標設定について必要な公共交通網の形があり、それには必要なコストを示した上で、利用者数や運賃収入の目標を立てることができれば議論が充実するのではないか。

事務局 : 目標値については、合志市地域公共交通網形成計画の策定時の数値に関する評価となっている。令和5年度までの計画のため、目標指標を検討していく時期が来ているとは考えている。

坂本委員 : バスロケーションシステムについて、「バスきたくまさん」の活用はできないか。

溝上副会長 : データベースの活用、他の交通機関との連携のことを考えると「バスきたくまさん」の導入は検討すべき。

事務局 : バスロケーションシステムについては、菊陽町とのスクラム事業により共同で導入しているため、現在菊陽町と協議中。

溝上副会長：合志市ぼちぼち元気ポイントへの説明会のような取り組みは継続が必要。今後も福祉分野とも連携して拡大して行ってほしい。

6. 協議事項

(4) 御代志駅前広場完成に伴うバス停の移設について

松永会長より協議事項(4)について説明。

協議の結果、出席者の承認を経て原案とおりに承認された。

【主な意見・質問など】

野口委員：新御代志駅では藤崎宮前駅のように定期券やくまモンカードの売買も可能か。また、停車する路線バスは熊本電鉄のみか。

坂本委員：有人駅となるため、販売は可能と思われるが現在調整中。
御代志駅は熊本電鉄の路線バスしか通らないため、電鉄の路線バスやレターバス、乗合タクシーの停車になる。

松永会長：御代志駅では路線バスのほか、私立高校の送迎バスや貸し切りバスの利用を可能にすることも想定している。

斉場委員：①駅前広場駐車場の台数は足りるか。
②パークアンドライドについてどのように考えているか

松永会長：①調査の結果、駐車場6台+乗降場2台で対応可能と判断した。
②商業施設の併用した駐車場の利用方法など、駐車場の確保については熊本電鉄とも協議しながら検討していく。

斉場委員：パークアンドライドについては、定期利用だけではなく一時利用も可能な形で調整いただきたい。

6. 協議事項

(5) 子ども無料（大人100円）の日実施に向けた協議運賃の承認について

事務局より協議事項（5）について説明

協議の結果、出席者の承認を経て原案とおり承認された。

【主な意見・質問など】

特になし

7. その他

特になし

8. 閉会

松田課長が閉会を宣言